

予算科目	4 款	衛生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	( )																																										
	1 項	保健衛生費		第2節	生涯を通じて元気で健康な暮らしが実現できるようにする		( )																																										
	1 目	保健衛生総務費		(1)	一人ひとりの健康づくりを推進する		( )																																										
小 事 業	保健衛生普及費・自殺対策緊急強化事業費（緊急総合経済対策分）																																																
事 業 名	こころの健康づくり事業																																																
目的及び事業内容	<p>目的：市民が生き生きとした生活が送れるよう、心の健康づくりを推進するとともに、精神障害者の社会参加を促進する。</p> <p>内容：心の電話相談、面接相談、家庭訪問、メンタルヘルス講演会（出前講座含む）、心の相談機関が記載されている心のストレス自己チェック票及びお酒の飲み方チェック票の配布、自殺対策緊急強化事業等</p>																																																
取 組 実 績	<p>1 心の電話相談 気軽に電話で心の相談ができるよう市報、チラシで周知した。</p> <p>2 面接相談（心理カウンセラーの相談含む） 心理カウンセラーの相談は、本庁、河北、河南、桃生の4会場で月2回から3回開催し、相談しやすい環境を整えている。また、随時、保健師による面接相談も行っている。</p> <p>3 家庭訪問 保健師による家庭訪問を実施した。</p> <p>4 メンタルヘルス講演会 医師及び心理カウンセラー等から、心の病の理解やストレスの対処法等の講演会を開催した。平成23年度は、震災後の心のケアとして講話を開催した。</p> <p>5 心のストレス自己チェック票及びお酒の飲み方チェック票の配布 早期に、うつやアルコール依存症の自己チェックができ、相談機関につながるリーフレットを作成し配布した。</p> <p>6 自殺対策緊急強化事業 傾聴ボランティア育成研修を開催した。 傾聴ボランティアの会カフェ「サロンさくら」は震災後の9月から活動を開始している。その他に支援者と一般市民を対象に研修会を行っている。</p>																																																
成 果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>事業名</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>心の電話相談</td> <td>1,988人</td> <td>2,350人</td> <td>不明</td> <td>1,113人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">2</td> <td>面接相談</td> <td>466人</td> <td>582人</td> <td>不明</td> <td>509人</td> </tr> <tr> <td>（うち心理カウンセラーの相談）</td> <td>94人</td> <td>105人</td> <td>不明</td> <td>86人</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>家庭訪問</td> <td>812人</td> <td>805人</td> <td>不明</td> <td>740人</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>メンタルヘルス講演会</td> <td>358人</td> <td>542人</td> <td>486人</td> <td>355人</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>心のストレス自己チェック票及びお酒の飲み方自己チェック票の配布</td> <td>3,467枚</td> <td>6,913枚</td> <td>10,800枚</td> <td>14,735枚</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ No.1～3のH22数値は、東日本大震災の影響により、集計不能。</p>								No.	事業名	H20	H21	H22	H23	1	心の電話相談	1,988人	2,350人	不明	1,113人	2	面接相談	466人	582人	不明	509人	（うち心理カウンセラーの相談）	94人	105人	不明	86人	3	家庭訪問	812人	805人	不明	740人	4	メンタルヘルス講演会	358人	542人	486人	355人	5	心のストレス自己チェック票及びお酒の飲み方自己チェック票の配布	3,467枚	6,913枚	10,800枚	14,735枚
No.	事業名	H20	H21	H22	H23																																												
1	心の電話相談	1,988人	2,350人	不明	1,113人																																												
2	面接相談	466人	582人	不明	509人																																												
	（うち心理カウンセラーの相談）	94人	105人	不明	86人																																												
3	家庭訪問	812人	805人	不明	740人																																												
4	メンタルヘルス講演会	358人	542人	486人	355人																																												
5	心のストレス自己チェック票及びお酒の飲み方自己チェック票の配布	3,467枚	6,913枚	10,800枚	14,735枚																																												
成果に係る評価	<p>平成18年度市民意識調査で、市や県で心の相談ができることを知っている人は49.9%と半数に満たない現状であった。このため、早期から自分自身の心のストレスを把握し処理できるよう、心の相談ができる機関を入れた心のストレス自己チェック票の配布に力を入れていくとともに、専門家による心の相談の機会を増やし、気軽に相談できる環境の整備に努めている。</p> <p>さらに、自殺対策をメインとした講演会や市民参加の傾聴ボランティアの養成を行い、健康増進計画でも掲げている「地域ぐるみで心の健康づくり」を目指し取り組んでいきたい。</p> <p>なお、震災後の心のケアとも重なるものであるため各関係機関とも、より密に連携し丁寧な事業を展開していきたい。</p>																																																
予算の執行状況	（単位：円）																																																
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																														
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																											
1,512,000	1,384,000			492,000	892,000																																												

予算科目	4 款	衛生費	総合計画	第 4 章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	( )	
	1 項	保健衛生費		第 2 節	生涯を通じて元気で健康な暮らしが実現できるようにする		( )	
	1 目	保健衛生総務費		( 2 )	医療体制を充実する		( )	

小 事 業	医療対策費
-------	-------

事 業 名	休日等急患診療対策事業
-------	-------------

目的及び事業内容	市内診療所が休診となる日曜日、休日（年末年始・川開き・お盆含む）における救急患者の診療体制を確立し、市民の急病に対する不安を解消するため、石巻市医師会、桃生郡医師会及び石巻歯科医師会と委託契約を結び、一次救急医療体制の確保を図る。 診療科目：内科・外科・小児科・産婦人科・歯科
----------	---

取 組 実 績	実施状況						
		区分	診療科目	診療時間	診療所数 (箇所)	開設延日数 (日)	開設延診療所数 (箇所)
	石巻市医師会	日曜日 休日	内科	午前9時～午後5時	19	65	69
			外科		9	52	52
			小児科		7	65	65
			産婦人科		5	63	63
桃生郡医師会	日曜日 休日	内科等	午前9時～午後5時	23	65	130	
石巻歯科医師会	日曜日 休日	歯科	午前9時～午後5時	37	73	132	

成 果	対前年度の増減						
		区分	診療科目	患者数(人)		増減(人)	増減(%)
				H22	H23		
	石巻市医師会	日曜日 休日	内科	4,574	4,273	△301	△6.6
			外科	2,099	1,750	△349	△16.6
			小児科	8,112	5,836	△2,276	△28.1
			産婦人科	274	289	15	5.5
		土曜日	産婦人科	67	0	△ 67	△100.0
	桃生郡医師会	日曜日 休日	内科等	2,652	3,675	1,023	38.6
	石巻歯科医師会	日曜日 休日	歯科	825	1,140	315	38.2

成果に係る評価	日曜日、休日及び年末年始等に在宅当番制で診療所を開設し、救急患者の診療を行うことにより、市民の急病に対する不安を解消した。
---------	---

(単位：円)

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	39,595,000	39,564,020				39,564,020

予算科目	4 款	衛生費	総合計画	第 4 章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	( )	
	1 項	保健衛生費		第 2 節	生涯を通じて元気で健康な暮らしが実現できるようにする		( )	
	1 目	保健衛生総務費		( 2 )	医療体制を充実する		( )	

小 事 業 医療対策費

事 業 名 病院群輪番制病院運営事業

目的及び事業内容 石巻医療圏(2市1町)内の公的病院である石巻赤十字病院、女川町立病院、石巻市立病院、石巻市立雄勝病院、石巻市立牡鹿病院の5病院及び斎藤病院、真壁病院、仙石病院の3民間病院における第二次救急医療施設の受入体制の整備と医師等医療従事者を確保することにより、休日又は夜間における入院治療を必要とする患者の医療を確保するため、8病院に対し補助金を支出していたものであるが、平成23年度は、東日本大震災の影響により、石巻市立病院及び石巻市立雄勝病院が機能停止しているため、事業を実施した6病院に対し補助金を支出した。また、平成23年10月1日から女川町立病院は、女川町地域医療センターとなっている。

各病院における当番実施日数及び患者受入状況

区分	石巻赤十字病院	石巻市立牡鹿病院	女川町地域医療センター	齋藤病院	真壁病院	仙石病院	石巻市立病院	石巻市立雄勝病院	計
当番実施日数(日)	436	110	121	132	146	197	0	0	1,142
患者受入数(人)	37,922	944	458	194	687	990	0	0	41,195
(うち 2市1町住民)	31,066	877	444	190	641	879	0	0	34,097
(うち 石巻市民)	25,443	876	26	168	98	566	0	0	27,177
1日当り患者数(人)	87.0	8.6	3.8	1.5	4.7	5.0	0	0	36.1

対前年度の増減

区分	H22	H23	増減	増減率(%)
患者受入数(人)	32,282	41,195	8,913	27.6
(うち 2市1町住民)	26,746	34,097	7,351	27.5
(うち 石巻市民)	20,409	27,177	6,768	33.2
1日当たり患者数(人)	24.7	36.1	11.4	46.2

※ 補助金交付内訳 (単位：円)

区分	石巻赤十字病院	石巻市立牡鹿病院	女川町地域医療センター	齋藤病院	真壁病院	仙石病院	計
補助金	24,781,575	6,252,232	6,877,455	7,502,678	8,298,417	11,197,179	64,909,536

成果に係る評価 休日又は夜間において、市民に対する第二次救急医療の確保が図られた。

(単位：円)

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	64,910,000	64,909,536			37,000,000	27,909,536

予算科目	4 款	衛生費	総合計画	第 4 章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	( )	
	1 項	保健衛生費		第 2 節	生涯を通じて元気で健康な暮らしが実現できるようにする		( )	
	1 目	保健衛生総務費		( 2 )	医療体制を充実する		( )	
小 事 業		医療対策費						
事 業 名		石巻赤十字病院新築移転に係る補助金交付事業						
目的及び事業内容		石巻赤十字病院の蛇田西道下地区移転新築事業に際し、本市として915,287千円を平成18年度から平成27年度までの10年間で分割交付する。						
取 組 実 績		市民の急病に対する対応が迅速に図られるほか、周辺地域への医療関連施設、福祉施設等の立地や雇用促進を図った。						
成 果		本市の中核的病院の継続的な運営が図られるとともに、三次救急医療による救急時の迅速な対応により、市民の安心感の醸成に繋がっている。						
成果に係る評価		市民の急病に対する迅速な対応が図られた。						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	91,528,000		91,528,000					91,528,000

予算科目	4 款	衛生費	総合計画	第 4 章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	( )																																									
	1 項	保健衛生費		第 2 節	生涯を通じて元気で健康な暮らしが実現できるようにする		( )																																									
	1 目	保健衛生総務費		( 1 )	一人ひとりの健康づくりを推進する		( )																																									
小 事 業		母子保健事業費																																														
事 業 名		乳児一般健康診査事業																																														
目的及び事業内容		乳児の疾病の早期発見及び早期治療を促進するとともに、乳児の保健管理の向上を図る。 母子健康手帳交付と同時に交付した受診票(母子手帳別冊に添付)により、生後2か月及び8か月に委託医療機関(小児科)で無料健診を受ける。																																														
取 組 実 績		<p>2か月児健診</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>交付数</th> <th>受診者数</th> <th>受診率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H20</td> <td>1,249件</td> <td>1,083人</td> <td>86.7%</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>1,152件</td> <td>997人</td> <td>86.5%</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>1,205件</td> <td>965人</td> <td>80.1%</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>1,189件</td> <td>887人</td> <td>74.6%</td> </tr> </tbody> </table> <p>8か月児健診</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>交付数</th> <th>受診者数</th> <th>受診率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H20</td> <td>1,286件</td> <td>997人</td> <td>77.5%</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>1,152件</td> <td>914人</td> <td>79.3%</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>1,255件</td> <td>833人</td> <td>66.4%</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>1,226件</td> <td>758人</td> <td>61.8%</td> </tr> </tbody> </table>							年度	交付数	受診者数	受診率	H20	1,249件	1,083人	86.7%	H21	1,152件	997人	86.5%	H22	1,205件	965人	80.1%	H23	1,189件	887人	74.6%	年度	交付数	受診者数	受診率	H20	1,286件	997人	77.5%	H21	1,152件	914人	79.3%	H22	1,255件	833人	66.4%	H23	1,226件	758人	61.8%
年度	交付数	受診者数	受診率																																													
H20	1,249件	1,083人	86.7%																																													
H21	1,152件	997人	86.5%																																													
H22	1,205件	965人	80.1%																																													
H23	1,189件	887人	74.6%																																													
年度	交付数	受診者数	受診率																																													
H20	1,286件	997人	77.5%																																													
H21	1,152件	914人	79.3%																																													
H22	1,255件	833人	66.4%																																													
H23	1,226件	758人	61.8%																																													
成 果		<p>保護者にとって、無料で乳児健診を受ける機会があることは疾病の早期発見、障害予防に重要な機会となっている。</p> <p>2か月、8か月児健診ともに、前年度の受診率より減少している。震災による医療機関の被災と、住民の被災による市外や県外への避難が影響したと思われる。</p>																																														
成果に係る評価		<p>8か月児健診は総合支所で実施する6～7か月児育児相談と重なる時期であり、虐待予防等の観点からは委託事業として実施するよりも、直営の集団事業の方が望ましい。</p> <p>しかし、医師会の合意と直営で実施するためのスタッフ等マンパワーの確保が必要である。</p>																																														
		(単位：円)																																														
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																																											
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																								
	11,416,000		9,389,660					9,389,660																																								

予算科目	4 款	衛生費	総合計画	第 4 章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	( )	
	1 項	保健衛生費		第 2 節	生涯を通じて元気で健康な暮らしが実現できるようにする		( )	
	1 目	保健衛生総務費		( 1 )	一人ひとりの健康づくりを推進する		( )	

小 事 業 母子保健事業費

事 業 名 妊婦健康診査費助成事業

目的及び事業内容 妊婦健診の費用を助成することにより、積極的な受診、妊娠時の異常の早期発見、早期治療等を促進するとともに、妊婦の保健管理の向上を図る。  
1回の妊娠中に受ける妊婦健診について平成19年度は2回、平成20年度は5回、平成21年度からは14回を上限として、回数を増やし、妊婦健診費用を助成する。  
(里帰り等で委託医療機関以外の医療機関を受診した場合、妊婦健診に要した費用のうち委託料と同額を上限として償還払いにより助成する。)

取 組 実 績

年度	助成券交付数	助成回数	受診者延数	1回平均	妊娠届出数	妊婦健診受診率	前年度比
H20	1,252枚	5回	5,927人	1,185.4人	1,179人	94.7%	100.4%
H21	1,212枚	14回	13,085人	934.6人	1,152人	77.1%	81.4%
H22	1,173枚	14回	12,454人	889.6人	1,085人	75.8%	98.3%
H23	1,156枚	14回	12,354人	882.4人	1,089人	76.3%	100.7%

平成22年度受診状況 (単位：人)

	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目	8回目	9回目	10回目	11回目	12回目	13回目	14回目	合計
受診者	1,033	888	919	808	968	954	913	970	925	907	904	835	696	450	12,170
償還払	1	4	8	8	8	7	9	17	30	44	48	42	35	23	284
計	1,034	892	927	816	976	961	922	987	955	951	952	877	731	473	12,454

平成23年度受診状況 (単位：人)

	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目	8回目	9回目	10回目	11回目	12回目	13回目	14回目	合計
受診者	1,104	1,004	977	906	889	941	867	958	866	881	869	780	625	395	12,062
償還払	10	13	15	16	13	14	15	16	33	35	35	31	27	19	292
計	1,114	1,017	992	922	902	955	882	974	899	916	904	811	652	414	12,354

成 果

※ 妊娠届出状況 (参考)

年度	妊娠届出数	前年度比	出生数	前年度比
H20	1,179人	93.4%	1,217人	96.4%
H21	1,152人	97.7%	1,112人	91.4%
H22	1,085人	94.2%	1,095人	98.5%
H23	1,089人	100.4%	968人	88.4%

出生数は減少

※ 妊娠届出時期

年度	届出総数	満11週以内	率
H20	1,179人	930人	78.9%
H21	1,152人	976人	84.7%
H22	1,085人	923人	85.1%
H23	1,089人	931人	85.5%

妊婦健診助成の拡充により、早期に妊娠届出をする妊婦が増えた。

成果に係る評価 妊婦健診の助成回数と内容の充実により、妊婦の経済的負担を軽減し、早期受診が図られ、安心して安全な出産に臨めるよう支援が図られた。  
しかし、若年の妊娠やパートナー又は育児の支援者がいない等の理由で、妊娠後期での母子手帳交付により妊婦健診が十分に受けられないまま出産に至るケースや飛び込み出産も増加している。

(単位：円)

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	104,898,000	94,926,626	22,994,000			71,932,626

予算科目	4 款	衛生費	総合計画	第 4 章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	( )	
	1 項	保健衛生費		第 2 節	生涯を通じて元気で健康な暮らしが実現できるようにする		( )	
	1 目	保健衛生総務費		( 1 )	一人ひとりの健康づくりを推進する		( )	

小 事 業	母子保健事業費
-------	---------

事 業 名	新生児訪問（乳児全戸訪問）事業
-------	-----------------

目的及び事業内容	乳児及び産婦の健康確認、育児支援及び虐待予防 出生から生後4か月までの乳児宅を保健師又は助産師が家庭訪問し、乳児及び産婦の健康面や養育環境の確認、育児に関する不安や悩みの聴取、相談、子育て支援に関する情報提供等を実施する。（原則、生後60日以内とし、産婦に対して産後うつ病の早期発見のためにエジンバラ産後うつ病質問票を活用する。）
----------	--

取 組 実 績	内訳							
	年度	出生数	対象数	実施数	実施率	保健師	ハート訪問指導員	囁託訪問指導員
	H18	1,236人	—	498件	40.3%	153件	345件	—
	H19	1,262人	—	613件	48.6%	191件	422件	—
	H20	1,217人	1,113人	1,078件	96.9%	339件	328件	411件
	H21	1,112人	1,097人	1,038件	94.6%	250件	403件	385件
	H22	1,095人	1,073人	1,003件	93.5%	209件	794件	—
	H23	967人	898人	907件	101.0%	233件	331件	343件
	H23年度の実施率が100%以上になっているが、震災により他市町へ避難している児については対象から除いているが、反対に里帰り出産と石巻市に避難している児の訪問は含まれているため。							

成 果	実施率を上げることで、育児不安や育児困難者の把握ができ、また、対象者が訪問により支援窓口を知ること、自分から支援を求めることができるようになってきている。 震災で被災した産科医療機関が多いため、入院期間が短縮され早期退院となるケースが多かったが、震災支援の保健師の協力があり、早期新生児訪問が実施でき、訪問実施率も上昇した。
-----	---

成果に係る評価	新生児訪問として、育児の初期に母親や家族に関わっていくことで、育児不安や育児困難のリスクが高くなったときに早期に関わるきっかけとし、虐待予防等にも結びつけることができた。 次世代育成支援対策交付金を活用し、着実に実施率100%に近づけることができています。今後は、対象者との連絡を確実にとれる体制（他課との連携や医療機関との連携）が重要となる。
---------	---

(単位：円)

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	4,142,309	3,813,239	2,604,000			1,209,239

予算科目	4 款	衛生費	総合計画	第 4 章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	( )																				
	1 項	保健衛生費		第 2 節	生涯を通じて元気で健康な暮らしが実現できるようにする		( )																				
	2 目	予防費		( 1 )	一人ひとりの健康づくりを推進する		( )																				
小 事 業		感染症予防事業費																									
事 業 名		結核検診事業																									
目的及び事業内容		結核のまん延を防止するため、65歳以上の市民に対し、胸部X線検査を実施する。																									
取 組 実 績		本庁地区は石巻市医師会に委託、各総合支所は検診団体に委託し実施した。																									
成 果		<p>結核の早期発見が図られ、感染予防に寄与した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">X線撮影 受診者</th> <th rowspan="2">精密検査 受診者</th> <th colspan="3">精 密 検 査 結 果</th> <th colspan="2">受 診 結 果</th> </tr> <tr> <th>異常なし</th> <th>経過観察</th> <th>要受診</th> <th>結 核</th> <th>結核の疑い</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>16,705人</td> <td>347人</td> <td>158人</td> <td>106人</td> <td>83人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> </tbody> </table>							X線撮影 受診者	精密検査 受診者	精 密 検 査 結 果			受 診 結 果		異常なし	経過観察	要受診	結 核	結核の疑い	16,705人	347人	158人	106人	83人	0人	0人
X線撮影 受診者	精密検査 受診者	精 密 検 査 結 果			受 診 結 果																						
		異常なし	経過観察	要受診	結 核	結核の疑い																					
16,705人	347人	158人	106人	83人	0人	0人																					
成果に係る評価		震災の影響もあり、受診者数は前年を下回った。今後も検診の必要性を周知し、受診率の向上を図る。																									
予算の執行状況		(単位：円)																									
		予算額	決算額	決算額の財源内訳																							
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																				
		35,356,000	35,086,262				35,086,262																				



予算科目	4 款	衛生費	総合計画	第 4 章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	( )	
	1 項	保健衛生費		第 2 節	生涯を通じて元気で健康な暮らしが実現できるようにする		( )	
	2 目	予防費		( 1 )	一人ひとりの健康づくりを推進する		( )	

小 事 業 予防接種費

事 業 名 各種予防接種事業

目的及び事業内容 三種混合、二種混合、麻しん・風しん混合、麻しん、風しん、BCG、ポリオ、インフルエンザ、日本脳炎、肺炎球菌、子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌の予防接種を行い、感染症の発生を防止する。

取 組 実 績 ポリオは、全地区において保健センター等で集団で実施し、その他の予防接種は嘱託医による個別接種を実施した。

乳幼児及び児童への接種により、感染症予防が図られたとともに、高齢者へのインフルエンザの罹患予防対策により、肺炎の併発、重症化、死亡等の防止に寄与した。

項 目	期 別	対象延人数	接種延人数	接種率
百日ぜき、ジフテリア、破傷風（三混）	1 期 初 回	9,822人	3,099人	31.6%
	追 加	5,235人	1,040人	19.9%
ジフテリア・破傷風（二混）	2 期	5,084人	1,131人	22.2%

  

項 目	1期			2期		
	対象人数	接種人数	接種率	対象人数	接種人数	接種率
麻しん・風しん混合	1,034人	995人	96.2%	1,208人	1,042人	86.3%

  

項 目	3期			4期		
	対象人数	接種人数	接種率	対象人数	接種人数	接種率
麻しん・風しん混合	1,467人	1,191人	81.2%	1,621人	1,249人	77.1%

  

項 目	接種人数
BCG	993人

  

項 目	1回目			2回目		
	対象人数	投与人数	投与率	対象人数	投与人数	投与率
ポリオ	3,618人	910人	25.2%	4,649人	916人	19.7%

  

項 目	対象人数	接種人数	接種率
インフルエンザ	40,434人	25,608人	63.3%

  

項 目	接種人数
肺炎球菌	1,544人

  

項 目	対象延人数	接種延人数	接種率
子宮頸がん	10,144人	7,593人	74.9%
ヒブ	7,466人	4,143人	55.5%
小児用肺炎球菌	8,578人	4,695人	54.7%

  

項 目	期 別	接種人数	
		1 期 初 回	追 加
日本脳炎	1 期 初 回	5,126人	
	追 加	1,163人	
	2 期	51人	

成果に係る評価 平成22年度より開始した子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌の予防接種は、接種者数及び接種率が大幅に伸びている。

(単位：円)

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	512,771,000	465,221,399	94,250,000			370,971,399

予算科目	4 款	衛生費	総合計画	第 5 章	心ゆたかな誇れるまち	復興計画	( )																														
	1 項	保健衛生費		第 2 節	身近な自然や生活環境を守る		( )																														
	2 目	予防費		( 2 )	生活環境を保全する		( )																														
小 事 業	狂犬病予防費																																				
事 業 名	狂犬病予防事業																																				
目的及び事業内容	<p>狂犬病発生の予防、まん延の防止及び撲滅を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 狂犬病予防法による飼犬の登録管理</li> <li>・ 狂犬病予防の啓蒙及び予防注射の啓発</li> <li>・ 動物愛護の啓発</li> </ul>																																				
取 組 実 績	<p>1 平成23年度 飼犬の新規登録実績 飼犬の新規登録頭数 598頭</p> <p>2 狂犬病予防注射の実施</p> <p>(1) 集合注射 実施期間 平成23年10月12日～10月31日 石巻市内101会場において延べ25日間で実施、2,577頭が狂犬病予防注射を接種した。</p> <p>(2) 個別注射（動物病院） 実施期間 平成23年5月1日～平成24年1月31日 動物病院において常時実施しており、2,717頭が狂犬病予防注射を接種した。</p>																																				
成 果	<p>狂犬病予防注射年間頭数が、5,294頭と前年度まで（7,500頭前後）と比較して、大幅に減少した。これは飼い主が被災し予防注射が出来なかったこともあるが、死亡届は提出されていないものの、飼犬が被災し頭数が大幅に減少したためとも推測される。接種率は58.3%であるが、狂犬病発生の報告はされていない。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2">主要な指標項目</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">登録頭数</td> <td>8,973頭</td> <td>9,101頭</td> <td>9,078頭</td> </tr> <tr> <td colspan="2">狂犬病予防注射年間頭数</td> <td>7,647頭</td> <td>7,473頭</td> <td>5,294頭</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">内訳</td> <td>集合注射</td> <td>5,180頭</td> <td>4,901頭</td> <td>2,577頭</td> </tr> <tr> <td>個別（動物病院）</td> <td>2,467頭</td> <td>2,572頭</td> <td>2,717頭</td> </tr> <tr> <td colspan="2">接種率</td> <td>85.2%</td> <td>82.1%</td> <td>58.3%</td> </tr> </tbody> </table>								主要な指標項目		H21	H22	H23	登録頭数		8,973頭	9,101頭	9,078頭	狂犬病予防注射年間頭数		7,647頭	7,473頭	5,294頭	内訳	集合注射	5,180頭	4,901頭	2,577頭	個別（動物病院）	2,467頭	2,572頭	2,717頭	接種率		85.2%	82.1%	58.3%
主要な指標項目		H21	H22	H23																																	
登録頭数		8,973頭	9,101頭	9,078頭																																	
狂犬病予防注射年間頭数		7,647頭	7,473頭	5,294頭																																	
内訳	集合注射	5,180頭	4,901頭	2,577頭																																	
	個別（動物病院）	2,467頭	2,572頭	2,717頭																																	
接種率		85.2%	82.1%	58.3%																																	
成果に係る評価	<p>狂犬病予防注射の集合注射の実施が10月からとなったため、動物病院での個別接種が増加した。また、小型犬・室内犬の飼養の増加等により集合注射における接種率が年々減少傾向にあるため、動物病院と連携し狂犬病についての理解を深め予防接種の必要性をさらに呼び掛けるとともに、飼犬数を適切に把握するため、飼犬の登録・死亡届等の提出について理解を求めていきたい。</p>																																				
(単位：円)																																					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																		
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																															
	7,894,000	7,317,615			7,317,615																																

予算科目	4 款	衛生費	総合計画	第 4 章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	( )	
	1 項	保健衛生費		第 2 節	生涯を通じて元気で健康な暮らしが実現できるようにする		( )	
	2 目	予防費		( 1 )	一人ひとりの健康づくりを推進する		( )	

小 事 業	健康増進事業費
-------	---------

事 業 名	保健推進員育成事業
-------	-----------

目的及び事業内容	行政と住民のパイプ役として健康増進事業に取り組み、地域住民の健康の保持増進を図ることを目的とし、保健推進員が活動しやすいように健康づくりに関して必要な研修を実施する。市で行う各種健（検）診の内容・受け方等を説明し、保健推進員自ら健康問題に関心を向け、必要とされる活動が行えるよう支援する。
----------	--

取 組 実 績	実施状況			
	区分	定員	研修会回数	研修会参加人数
	本 庁	210人	34回	552人
	河 北	80人	4回	151人
	雄 勝	0人	0回	0人
	河 南	52人	3回	117人
	桃 生	26人	2回	36人
	北 上	19人	1回	10人
	牡 鹿	0人	0回	0人
全 市	387人	44回	866人	

成 果	震災の影響で雄勝地区、牡鹿地区等の被災地域は、活動の見通しが立たず、活動できる地域から委嘱したが、十分な活動ができなかった。保健推進員も半数以上が被災者で、各地区で被災状況の報告やメンタルヘルスの勉強会などの活動が主だった。
-----	--

成果に係る評価	市民の健康づくりを推進するために、保健推進員の存在は大きく、行政と市民のパイプ役として、地域からの健康問題を吸い上げ、解決策を考え、実践するという住民参加型の事業展開を行う上で、効果的なものであるが、震災で、地域や保健推進員が被災し、従来の地域での活動が十分でせずに前年度の活動数の半数以下だった。 今後は、各地域で保健推進員が早急に地域住民を巻き込んだ保健事業が推進できる支援が必要である。
---------	---

(単位：円)

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	9,874,848	4,740,709				4,740,709

予算科目	4 款	衛生費	総合計画	第 4 章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	( )																	
	1 項	保健衛生費		第 2 節	生涯を通じて元気で健康な暮らしが実現できるようにする		( )																	
	2 目	予防費		( 1 )	一人ひとりの健康づくりを推進する		( )																	
小 事 業		健康増進事業費																						
事 業 名		生活習慣改善事業																						
目的及び事業内容		生活習慣病や要介護状態を予防するために、正しい知識の普及を図り、「自らの健康は自らが守る」という認識と自覚を高め、壮年期からの健康保持増進を図ることを目的とする。 生活習慣病や要介護状態を予防するために、運動ボランティアの育成と、ダンベル体操の普及を行う。また、健康教室で食事の適量・バランスについての具体的な情報の提供や、がん・脳卒中・糖尿病予防の普及啓発を行い、生活習慣改善を行う。																						
取 組 実 績		1 運動普及ボランティア育成研修会 2回開催 震災後、各地区からの代表者が研修会に参加 2 ダンベル体操普及事業 ダンベルリーダー及び保健師及び栄養士が地域でダンベル体操の普及を行った。 ※震災の影響で河北・雄勝・牡鹿地区のダンベルリーダーは地域で活動ができなかった。 3 ヘルシー栄養セミナー 壮年期の生活習慣病予防のために食事や運動等の指導を実施した。 震災の影響で、本庁・河北・桃生地区で縮小して実施。																						
成 果		震災の影響で、被災した地域ではダンベルリーダーの活動ができなかったが、他の地域では仮設住宅等でダンベルリーダーが自主的に被災者支援で活動し、コミュニティ形成やストレッチ・ダンベル体操等の普及を行なった。 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>主な成果指標</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催回数</td> <td>894回</td> <td>406回</td> <td>283回</td> </tr> <tr> <td>そのうち市民が自主的に普及した回数</td> <td>748回</td> <td>306回</td> <td>182回</td> </tr> <tr> <td>参加延べ人数</td> <td>13,894人</td> <td>7,988人</td> <td>3,885人</td> </tr> </tbody> </table>							主な成果指標	H21	H22	H23	開催回数	894回	406回	283回	そのうち市民が自主的に普及した回数	748回	306回	182回	参加延べ人数	13,894人	7,988人	3,885人
主な成果指標	H21	H22	H23																					
開催回数	894回	406回	283回																					
そのうち市民が自主的に普及した回数	748回	306回	182回																					
参加延べ人数	13,894人	7,988人	3,885人																					
成果に係る評価		震災後、仮設住宅や地域の集会所等で生活習慣病予防の健康講話や健康相談会・栄養相談会を行っている。相談者には高血圧や血糖値が高い方も増えているため、保険年金課と連携しながら生活習慣病重症化予防対策を強化していく必要がある。また、運動普及ボランティアの育成を行い、ダンベルリーダー等が生活不活発病予防も兼ねて、各仮設住宅集会所等で運動普及を継続的に実施しており、今後も更に運動普及ボランティアによる地域での運動普及が望まれる。																						
(単位：円)																								
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳																				
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																	
		746,000	453,388	303,000			150,388																	

予算科目	4 款	衛生費	総合計画	第 4 章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	( )																
	1 項	保健衛生費		第 2 節	生涯を通じて元気で健康な暮らしが実現できるようにする		( )																
	2 目	予防費		( 1 )	一人ひとりの健康づくりを推進する		( )																
小 事 業		健康増進事業費																					
事 業 名		健康診査事業																					
目的及び事業内容		健康増進法の規定により40歳以上の生活保護受給者について、メタボリックシンドロームに着目した健康診査を実施する。																					
取 組 実 績		本庁地区は市内の医療機関による個別健診、各総合支所においては、保健センターや集会所等で検診団体による集団健診で実施した。																					
成 果		<p>メタボリックシンドロームを発見し、健康増進に寄与した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">対象者</th> <th rowspan="2">受診者</th> <th rowspan="2">受診率</th> <th colspan="3">受 診 結 果</th> </tr> <tr> <th>情報提供</th> <th>動機づけ支援</th> <th>積極的支援</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,285人</td> <td>124人</td> <td>9.6%</td> <td>110人</td> <td>8人</td> <td>6人</td> </tr> </tbody> </table>							対象者	受診者	受診率	受 診 結 果			情報提供	動機づけ支援	積極的支援	1,285人	124人	9.6%	110人	8人	6人
対象者	受診者	受診率	受 診 結 果																				
			情報提供	動機づけ支援	積極的支援																		
1,285人	124人	9.6%	110人	8人	6人																		
成果に係る評価		受診率が低い状況にあるため、健診の必要性を周知し受診率向上を図る。 平成23年度から本庁地区における検診通知書（検診票）の作成及び郵便への切り替えに伴う封入を外部発注し業務軽減を図った。																					
予算の執行状況		(単位：円)																					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																	
	2,700,000	1,040,158	715,000			325,158																	

予算科目	4 款	衛生費	総合計画	第 4 章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	( )			
	1 項	保健衛生費		第 2 節	生涯を通じて元気で健康な暮らしが実現できるようにする		( )			
	2 目	予防費		( 1 )	一人ひとりの健康づくりを推進する		( )			
小 事 業	健康増進事業費									
事 業 名	各種がん検診事業									
目的及び事業内容	胃がん（30歳以上）、乳がん（30歳以上の女性）、子宮がん（20歳以上の女性）、肺がん（40歳以上）、大腸がん（40歳以上）及び前立腺がん（50歳以上の男性）検診を実施し、がんの早期発見により市民の健康増進に寄与する。									
取 組 実 績	本庁地区においては、市内の医療機関による個別実施（胃がん及び肺がんは除く。）を、また、各総合支所においては、保健センターや集会所等で検診団体による集団検診で実施した。									
成 果	がんの早期発見・早期治療が図られ、健康増進に寄与した。									
	(単位：人)									
	検診の種類	項目	基礎検診		精密検査			がん発見者数(C)	発見率	
			対象者数	受診者数(A)	受診率	対象者数	受診者数(B)		受診率	C/A
	胃がん検診(30歳以上)	82,359	11,762	14.28%	860	712	82.79%	7	0.06%	0.98%
	乳がん検診(30歳以上女性)※	30,528	6,550	21.46%	327	314	96.02%	11	0.17%	3.50%
	子宮がん検診(20歳以上女性)※ (うち体部)	54,671	10,609 (462)	19.41% (0.85%)	83 (8)	81 (8)	97.59% (100.00%)	5 (3)	0.05% (0.65%)	6.17% (37.50%)
	肺がん検診(40歳以上)	69,878	25,265	36.16%	457	366	80.09%	10	0.04%	2.73%
	大腸がん検診(40歳以上)※	60,003	15,603	26.00%	888	732	82.43%	36	0.23%	4.92%
前立腺がん検診(50歳以上)	26,052	5,885	22.59%	470	349	74.26%	14	0.24%	4.01%	
※ がん検診推進事業を除く。										
成果に係る評価	受診率が低い状況にあるため、検診の必要性を周知し受診率向上を図る。									
予算の執行状況	(単位：円)									
	予算額	決算額	決算額の財源内訳							
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源				
211,370,082	211,370,082			4,780,250	206,589,832					

予算科目	4 款	衛生費	総合計画	第 4 章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	( )																
	1 項	保健衛生費		第 2 節	生涯を通じて元気で健康な暮らしが実現できるようにする		( )																
	2 目	予防費		( 1 )	一人ひとりの健康づくりを推進する		( )																
小 事 業		健康増進事業費																					
事 業 名		骨粗しょう症検診事業																					
目的及び事業内容		骨量減少者を早期に発見し、生活習慣の改善を通して、骨折及び寝たきり予防を図る。40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、65歳及び70歳の女性を対象に集団検診で実施する。																					
取 組 実 績		本庁地区は石巻市医師会に委託、各総合支所は検診団体に委託し実施した。																					
成 果		<p>骨量減少者を早期に発見し、骨折等の予防が図られた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">対象者数</th> <th rowspan="2">受診者数</th> <th rowspan="2">受診率</th> <th colspan="3">受診結果</th> </tr> <tr> <th>異常なし</th> <th>要指導</th> <th>要精検</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6,606人</td> <td>1,415人</td> <td>21.4%</td> <td>867人</td> <td>371人</td> <td>177人</td> </tr> </tbody> </table>							対象者数	受診者数	受診率	受診結果			異常なし	要指導	要精検	6,606人	1,415人	21.4%	867人	371人	177人
対象者数	受診者数	受診率	受診結果																				
			異常なし	要指導	要精検																		
6,606人	1,415人	21.4%	867人	371人	177人																		
成果に係る評価		受診率が低い状況にあるため、検診の必要性を周知し受診率向上を図る。																					
予算の執行状況		(単位：円)																					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																	
	2,271,000	1,869,220	1,589,000		119,000	161,220																	

予算科目	4 款	衛生費	総合計画	第 4 章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	( )	
	1 項	保健衛生費		第 2 節	生涯を通じて元気で健康な暮らしが実現できるようにする		( )	
	2 目	予防費		( 1 )	一人ひとりの健康づくりを推進する		( )	

小 事 業 健康増進事業費

事 業 名 肝炎ウイルス検診事業

目的及び事業内容 40歳を節目検診、41歳以上で過去に肝炎ウイルス検診を受診したことがない者を節目外検診として実施する。また、特定健診等で肝機能に異常があった者を対象として二次検診を実施している。

取 組 実 績 本庁地区においては市内の医療機関による個別検診を、各総合支所においては、保健センターや集会所等で検診団体による集団検診を実施した。  
また、平成23年度より、40歳、45歳、50歳、55歳、60歳の方に対して個別勧奨を実施し、無料で検診を受けられるようにした。

肝炎の早期発見・早期治療が図られ、健康増進に寄与した。

年 齢 ( 歳 )	HBs 抗 原 受 診 者 数	判 定 結 果		HCV 抗 体 受 診 者	判 定 結 果 抗 体 区 分				
		陰 性	陽 性		1	2	3	4	5
45 ~ 49	264人	259人	5人	262人	1人			1人	260人
50 ~ 54	342人	337人	5人	343人	1人				342人
55 ~ 59	374人	368人	6人	374人	2人			2人	370人
60 ~ 64	517人	509人	8人	519人	1人				518人
65 ~ 69	127人	126人	1人	128人	1人				127人
70 ~	256人	255人	1人	257人	2人			10人	245人
計	2,226人	2,191人	35人	2,229人	9人	0人	0人	13人	2,207人

成果に係る評価 個別勧奨の効果もあり、受診者数は大幅な増加となっている。  
今後も受診促進を図り、早期発見に努める。

(単位：円)

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	13,325,000	9,207,541	6,943,000			2,264,541



予算科目	4 款	衛生費	総合計画	第 4 章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	( )																																																	
	1 項	保健衛生費		第 2 節	生涯を通じて元気で健康な暮らしが実現できるようにする		( )																																																	
	2 目	予防費		( 1 )	一人ひとりの健康づくりを推進する		( )																																																	
小 事 業		健康増進事業費																																																						
事 業 名		成人歯科健康診査事業																																																						
目的及び事業内容		<p>1 目的 歯周疾患は、40歳以降の急激な歯の喪失につながるとともに、糖尿病、心臓血管系疾患、呼吸器系疾患、骨粗しょう症など全身疾患を起こす原因とも言われることから、健診により自らの口腔状態を認識し、歯周疾患の進行を抑制することを目的とする。</p> <p>2 事業内容 健康増進法に基づく健康診査等事業として、40歳、50歳、60歳及び70歳を対象に、個別健診を実施</p>																																																						
取 組 実 績		<p>1 全市において、市内の指定医療機関による個別健診を実施した。</p> <p>2 2月を補足期間とし、11月～2月までの4か月間で実施した。</p> <p>3 平成23年度は、一部負担金の免除者を「医療費一部負担金等免除証明書」の提出者まで拡大した。</p>																																																						
成 果		<p>1 受診者が自分の現在の口腔状態を認識することにより、各自が行うセルフケアについて理解することができるようになった。</p> <p>2 治療や予防処置を受けるための定期健診を含め、歯科医院を受診する機会が増えた。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2">区 分</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">対象者</td> <td>9,110人</td> <td>9,597人</td> <td>6,454人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">申込者数</td> <td></td> <td>1,521人</td> <td>1,538人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">受診者</td> <td>690人</td> <td>321人</td> <td>323人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">受診率</td> <td>7.6%</td> <td>3.3%</td> <td>5.0%</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">判定結果</td> <td>1 異常なし</td> <td>62人</td> <td>21人</td> <td>18人</td> </tr> <tr> <td>2 要指導</td> <td>16人</td> <td>14人</td> <td>20人</td> </tr> <tr> <td>3 要治療・要精検</td> <td>612人</td> <td>286人</td> <td>285人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">判定結果3の内、歯科医院を受診した割合</td> <td></td> <td>86.4%</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> <td>(65%の回答率中)</td> <td>(震災につき調査できず)</td> </tr> </tbody> </table>							区 分		H21	H22	H23	対象者		9,110人	9,597人	6,454人	申込者数			1,521人	1,538人	受診者		690人	321人	323人	受診率		7.6%	3.3%	5.0%	判定結果	1 異常なし	62人	21人	18人	2 要指導	16人	14人	20人	3 要治療・要精検	612人	286人	285人	判定結果3の内、歯科医院を受診した割合			86.4%	-				(65%の回答率中)	(震災につき調査できず)
区 分		H21	H22	H23																																																				
対象者		9,110人	9,597人	6,454人																																																				
申込者数			1,521人	1,538人																																																				
受診者		690人	321人	323人																																																				
受診率		7.6%	3.3%	5.0%																																																				
判定結果	1 異常なし	62人	21人	18人																																																				
	2 要指導	16人	14人	20人																																																				
	3 要治療・要精検	612人	286人	285人																																																				
判定結果3の内、歯科医院を受診した割合			86.4%	-																																																				
			(65%の回答率中)	(震災につき調査できず)																																																				
成果に係る評価		<p>受診率の向上を図るために、市報への掲載を継続するとともに、成人歯科教室の対象者の拡大を図り、住民へ成人歯科健診の周知に努める。また、健診期間の延伸、指定医療機関の拡充、対象者の見直しを図る等、委託先の歯科医師会との協議が必要である。</p>																																																						
(単位：円)																																																								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																																																			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																
	3,373,203		1,100,080		686,000			414,080																																																

予算科目	4 款	衛生費	総合計画	第 4 章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	( )				
	1 項	保健衛生費		第 2 節	生涯を通じて元気で健康な暮らしが実現できるようにする		( )				
	2 目	予防費		( 1 )	一人ひとりの健康づくりを推進する		( )				
小 事 業	健康増進事業費										
事 業 名	がん検診推進事業										
目的及び事業内容	特定の年齢に達した市民に対して、子宮頸がん、乳がん、大腸がんに関する検診手帳及び無料クーポン券を送付し、がん検診の受診促進を図るとともに、がんの早期発見と正しい健康意識の普及啓発を図る。										
取 組 実 績	子宮がん検診は、20、25、30、35、40歳の女性の方を対象に実施した。 乳がん検診は、40、45、50、55、60歳の女性の方を対象に実施した。 大腸がん検診は、40、45、50、55、60歳の男女を対象に実施した。										
成 果	がん検診の受診促進が図られ、健康増進に寄与した。										
	(単位：人)										
		項 目	基礎検診 (A)			精密検査 (B)			が ん	発 見 率	
		検診の種類	対象者数	受診者数	受診率	対象者数	受診者数	受診率	発見者数 (C)	C/A	C/B
		子宮がん検診	4,297	1,021	23.76%	27	23	85.19%	1	0.10%	4.35%
	乳がん検診	5,414	1,584	29.26%	80	76	95.00%	1	0.06%	1.32%	
	大腸がん検診	10,695	1,941	18.15%	87	69	79.31%	0	0.00%	0.00%	
成果に係る評価	受診率が低い状況にあるため、検診の必要性を周知し受診率向上を図る。										
予算の執行状況	(単位：円)										
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
39,455,000	28,274,923	20,322,000						7,952,923			

予算科目	4 款	衛生費	総合計画	第 5 章	心ゆたかな誇れるまち	復興計画	( )																									
	1 項	保健衛生費		第 2 節	身近な自然や生活環境を守る		( )																									
	3 目	環境衛生費		( 2 )	生活環境を保全する		( )																									
小 事 業	鼠族・昆虫等駆除費																															
事 業 名	鼠族・昆虫等駆除事業																															
目的及び事業内容	<p>各種感染症の発生を防止するため、病原体を媒介する害虫の駆除活動を、町内会等で実施することにより、公衆衛生の向上と清潔な生活環境の増進に資することを目的とする。</p> <p>町内会等に対し衛生害虫の駆除に必要な防疫薬剤を支給 町内会等が購入する消毒機器の購入費等の一部を補助</p>																															
取 組 実 績	<p>1 町内会等に対し衛生害虫の駆除に必要な防疫薬剤等を支給 薬剤支給状況</p> <table border="1"> <tr> <td>乳剤 (0.5ℓ 入)</td> <td>1,053本</td> <td>油剤 (10ℓ 入)</td> <td>22本</td> <td>粉剤 (3k 入)</td> <td>3,161袋</td> </tr> <tr> <td>乳剤 (1.8ℓ 入)</td> <td>222本</td> <td>油剤 (18ℓ 入)</td> <td>88缶</td> <td>粉剤 (10k 入)</td> <td>337箱</td> </tr> <tr> <td>乳剤 (6ℓ 入)</td> <td>220缶</td> <td></td> <td></td> <td>錠剤 (25g 入)</td> <td>11,967袋</td> </tr> <tr> <td>乳剤 (18ℓ 入)</td> <td>182缶</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>2 町内会等が購入する消毒機器の購入費等の一部を補助 自主防疫機器の整備を推進することにより、地域における環境衛生の向上と、市民の生活環境の保全を図った。(助成件数2件)</p>								乳剤 (0.5ℓ 入)	1,053本	油剤 (10ℓ 入)	22本	粉剤 (3k 入)	3,161袋	乳剤 (1.8ℓ 入)	222本	油剤 (18ℓ 入)	88缶	粉剤 (10k 入)	337箱	乳剤 (6ℓ 入)	220缶			錠剤 (25g 入)	11,967袋	乳剤 (18ℓ 入)	182缶				
乳剤 (0.5ℓ 入)	1,053本	油剤 (10ℓ 入)	22本	粉剤 (3k 入)	3,161袋																											
乳剤 (1.8ℓ 入)	222本	油剤 (18ℓ 入)	88缶	粉剤 (10k 入)	337箱																											
乳剤 (6ℓ 入)	220缶			錠剤 (25g 入)	11,967袋																											
乳剤 (18ℓ 入)	182缶																															
成 果	<p>地区衛生組織の活動支援とし薬剤の配布等を行ったが、昨年は東日本大震災の影響により自主防疫活動が行える団体も限られ、団体数及び回数ともに減少となった。しかし、自主防疫が実施可能な地区では市民の環境衛生への関心も高まり、衛生害虫等による感染症の発生防止が図られた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>感染症発生件数</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>町内自主防疫活動実施団体数</td> <td>366団体 (87.8%)</td> <td>346団体 (83.6%)</td> <td>284団体 (68.6%)</td> </tr> <tr> <td>町内自主防疫活動実施回数</td> <td>1,044回</td> <td>790回</td> <td>640回</td> </tr> </tbody> </table>								主な指標項目	H21	H22	H23	感染症発生件数	0件	0件	0件	町内自主防疫活動実施団体数	366団体 (87.8%)	346団体 (83.6%)	284団体 (68.6%)	町内自主防疫活動実施回数	1,044回	790回	640回								
主な指標項目	H21	H22	H23																													
感染症発生件数	0件	0件	0件																													
町内自主防疫活動実施団体数	366団体 (87.8%)	346団体 (83.6%)	284団体 (68.6%)																													
町内自主防疫活動実施回数	1,044回	790回	640回																													
成果に係る評価	<p>当市の害虫駆除等の防疫活動については、効率的かつ能率的な運営を期すために、地域の実情に精通している地域住民が自らの環境をあらゆる角度から見直し、防疫活動が組織的・計画的に実施される必要があったため、市直営から地域住民による自主防疫によって実施され、現在に至っているが、衛生害虫の駆除に必要な防疫薬剤については、市の責務とし、町内会等に支給している状況であり、感染症の発生予防と良好な生活環境の確保が図られている。</p> <p>今般、下水道供用区域や市街化区域が整備されるなど生活環境は好転しているものの、地球温暖化の影響と考えられる新たな問題も発生している。また、震災により地域の環境が激変していることから、変化に応じた、地域特性に即した防疫事業並びに自主防疫のあり方について検討が必要となっている。様々な環境問題が発生している中で、環境衛生の推進は重要な課題である。</p>																															
予算の執行状況	(単位：円)																															
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																													
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																										
19,347,000	18,326,307				18,326,307																											

予算科目	4 款	衛生費	総合計画	第 5 章	心ゆたかな誇れるまち	復興計画	( )													
	1 項	保健衛生費		第 2 節	身近な自然や生活環境を守る		( )													
	3 目	環境衛生費		( 2 )	生活環境を保全する		( )													
小 事 業	環境美化促進費																			
事 業 名	環境美化促進事業																			
目的及び事業内容	<p>豊かな市民性を育み、快適な生活を営むため、ごみの散乱を防止し、清潔で健康なまちづくりを推進するとともに、緑豊かな美しいまちづくりを目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ クリーン運動：清掃奉仕活動、側溝清掃、ポイ捨て禁止キャンペーン、まちや川をきれいにする運動作文ポスターコンクール</li> <li>・ グリーン運動：花いっぱい運動、各種花卉展示会への協賛</li> </ul>																			
取 組 実 績	<p>1 クリーン運動 各種清掃活動への助成・支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 清掃奉仕活動に対し、ごみ袋の支給等を行った。</li> </ul> <p>2 グリーン運動 花いっぱい運動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 花いっぱい運動参加団体に対し、花があふれる潤いのあるまちづくりを推進するために花苗を配布した。</li> </ul>																			
成 果	<p>環境美化の促進については、クリーン・グリーン運動を中心に、地域全体が清潔で緑豊かな住みよい環境づくりを目指して、市民・事業者・行政が一体となり協働による各種活動を展開しているが、東日本大震災の影響で活動できる団体が限られ、清掃奉仕活動の実施団体数・回数ともに減少したものの、環境美化意識の高揚及び環境美化促進の環境づくりが図られた。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>清掃奉仕活動実施団体数</td> <td>242団体</td> <td>331団体</td> <td>151団体</td> </tr> <tr> <td>清掃奉仕活動実施回数</td> <td>747回</td> <td>1,085回</td> <td>491回</td> </tr> </tbody> </table>								主な指標項目	H21	H22	H23	清掃奉仕活動実施団体数	242団体	331団体	151団体	清掃奉仕活動実施回数	747回	1,085回	491回
主な指標項目	H21	H22	H23																	
清掃奉仕活動実施団体数	242団体	331団体	151団体																	
清掃奉仕活動実施回数	747回	1,085回	491回																	
成果に係る評価	<p>石巻市環境基本計画に掲げる環境像「多様な自然との共生 心豊かな生活 未来へつなぐ美しいふるさと」の実現に向け、クリーン運動として清掃奉仕活動や側溝清掃については、行政と市民の協働により事業を実施しているが、よりよい地域環境を保つために、環境美化への啓発活動等を積極的に展開していくとともに、市民ニーズを的確に捉え、各種支援を実施していく必要がある。</p> <p>また、グリーン運動については「花いっぱい運動」を中心に展開しているが、実施団体より多くの要望があるため、さらなる支援拡充を検討する必要があるとともに、先進地事例等を調査・検討する。</p>																			
予算の執行状況	(単位：円)																			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																	
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源														
1,538,785	886,315			770,000	116,315															

予算科目	4 款	衛生費	総合計画	第 5 章	心ゆたかな誇れるまち	復興計画	( 1 )	みんなで築く災害に強いまちづくり																																																														
	1 項	保健衛生費		第 2 節	身近な自然や生活環境を守る		( 3 )	減災まちづくりの推進																																																														
	4 目	環境政策費		( 4 )	エネルギー対策を推進する		( 3 )	新エネルギー等の活用																																																														
小 事 業	環境政策推進費																																																																					
事 業 名	太陽光発電普及促進事業費補助金交付事業																																																																					
目的及び事業内容	<p>自然エネルギーの利用を促進することにより、二酸化炭素の排出を抑制し、地球温暖化の防止に資するとともに、市民の環境に対する意識の高揚を図るため、太陽光発電システムを設置した者に対し、予算の範囲内で補助金を交付する。</p> <p>補助金の交付額は、個人住宅は対象設備の太陽電池の最大出力に1キロワット当たり2万5千円を乗じて得た金額（上限を10万円）とし、事業所は対象設備の太陽電池の最大出力に1キロワット当たり2万5千円を乗じて得た金額（上限を40万円）とする。</p>																																																																					
取 組 実 績	<p>取組状況は次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成21年10月1日から受付を開始し、平成22年3月11日で予算額に達したため受付を終了した。</td> <td>平成22年4月1日から受付を開始し、11月1日で当初予算額に達した。 補正予算を組み、平成23年1月4日から受付を再開したが17日で補正予算額に達したため受付を終了した。</td> <td>震災の影響により平成24年1月10日から受付を開始し、3月30日まで受付した。</td> </tr> </tbody> </table>								H21	H22	H23	平成21年10月1日から受付を開始し、平成22年3月11日で予算額に達したため受付を終了した。	平成22年4月1日から受付を開始し、11月1日で当初予算額に達した。 補正予算を組み、平成23年1月4日から受付を再開したが17日で補正予算額に達したため受付を終了した。	震災の影響により平成24年1月10日から受付を開始し、3月30日まで受付した。																																																								
H21	H22	H23																																																																				
平成21年10月1日から受付を開始し、平成22年3月11日で予算額に達したため受付を終了した。	平成22年4月1日から受付を開始し、11月1日で当初予算額に達した。 補正予算を組み、平成23年1月4日から受付を再開したが17日で補正予算額に達したため受付を終了した。	震災の影響により平成24年1月10日から受付を開始し、3月30日まで受付した。																																																																				
成 果	<p>補助実績は次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">H21</th> <th colspan="2">H22</th> <th colspan="2">H23</th> </tr> <tr> <th>個人</th> <th>事業所</th> <th>個人</th> <th>事業所</th> <th>個人</th> <th>事業所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>予算額</td> <td colspan="2">17,500,000円</td> <td colspan="2">23,500,000円</td> <td colspan="2">25,200,000円</td> </tr> <tr> <td>交付対象</td> <td>個人</td> <td>事業所</td> <td>個人</td> <td>事業所</td> <td>個人</td> <td>事業所</td> </tr> <tr> <td>交付件数</td> <td>141件</td> <td>2件</td> <td>187件</td> <td>6件</td> <td>210件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>交付金額</td> <td>16,839,000円</td> <td>551,000円</td> <td>22,086,000円</td> <td>1,387,000円</td> <td>19,310,000円</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>交付合計額</td> <td colspan="2">17,390,000円</td> <td colspan="2">23,473,000円</td> <td colspan="2">19,310,000円</td> </tr> <tr> <td>最高出力kW数</td> <td colspan="2">601.38kW</td> <td colspan="2">794.01kW</td> <td colspan="2">914.37kW</td> </tr> <tr> <td>CO2削減効果</td> <td colspan="2">296.49t-co2/年</td> <td colspan="2">391.46t-co2/年</td> <td colspan="2">450.80 t-co2/年</td> </tr> </tbody> </table>									H21		H22		H23		個人	事業所	個人	事業所	個人	事業所	予算額	17,500,000円		23,500,000円		25,200,000円		交付対象	個人	事業所	個人	事業所	個人	事業所	交付件数	141件	2件	187件	6件	210件	0件	交付金額	16,839,000円	551,000円	22,086,000円	1,387,000円	19,310,000円	0円	交付合計額	17,390,000円		23,473,000円		19,310,000円		最高出力kW数	601.38kW		794.01kW		914.37kW		CO2削減効果	296.49t-co2/年		391.46t-co2/年		450.80 t-co2/年	
	H21		H22		H23																																																																	
	個人	事業所	個人	事業所	個人	事業所																																																																
予算額	17,500,000円		23,500,000円		25,200,000円																																																																	
交付対象	個人	事業所	個人	事業所	個人	事業所																																																																
交付件数	141件	2件	187件	6件	210件	0件																																																																
交付金額	16,839,000円	551,000円	22,086,000円	1,387,000円	19,310,000円	0円																																																																
交付合計額	17,390,000円		23,473,000円		19,310,000円																																																																	
最高出力kW数	601.38kW		794.01kW		914.37kW																																																																	
CO2削減効果	296.49t-co2/年		391.46t-co2/年		450.80 t-co2/年																																																																	
成果に係る評価	<p>国からの社会資本整備総合交付金と一般財源を合わせ25,200,000円の予算額を措置したが、予算額に達するまでの申請はなかった。 年間450.80 t の二酸化炭素の削減が図られた。</p>																																																																					
(単位：円)																																																																						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																
	25,200,000	19,310,000	4,500,000			14,810,000																																																																

予算科目	4 款	衛生費	総合計画	第 5 章	心ゆたかな誇れるまち	復興計画	( )	
	1 項	保健衛生費		第 2 節	身近な自然や生活環境を守る		( )	
	4 目	環境政策費		( 2 )	生活環境を保全する		( )	
小 事 業		環境政策推進費						
事 業 名		光触媒による水質浄化検証事業						
目的及び事業内容		<p>光触媒の技術は、現代社会の課題である環境問題・エネルギー問題を改善できる可能性を秘めた技術であり、この技術を通じて、①市内の環境浄化に関する研究の推進、②環境意識の高い人材の育成、③環境問題に対する市民の啓発を図ることを目的としている。</p> <p>石巻工業高等学校において、酸化チタンを使用した光触媒の持つ有機質分解に注目し、これによる水質浄化について実験・研究を進める。</p>						
取 組 実 績		<p>石巻工業高等学校で行う実験費用等を市が負担することにより、石巻工業高等学校が研究を進めた。平成23年10月28日に石巻工業高等学校による中間報告会が開催され、「①酸化チタンの固定化に関する実験研究、②酸化チタンの光触媒能力測定に関する実験研究、③酸化チタンを利用した環境浄化に関する実験研究」について説明があった。</p> <p>最終報告会については、未開催となり「平成23年度光触媒事業報告書」の提出となった。</p>						
成 果		<p>1 市内の環境浄化に関する研究の推進 震災を挟んで2年目の継続研究。光触媒効果の確認から初めて浄化装置の試作まできた。光触媒に関する研究は世界中で行われており、なかなか画期的な成果を出すのは難しいが、石巻市の特性に適合した環境浄化を目指し研究を進めてきた。 今後のフィールドでの実証実験の道筋を作ることができた。</p> <p>2 環境意識の高い人材の育成 光触媒の効果について、学科・部活動・開放講座で取り上げてきたが、生徒の感想文などから、環境問題や理工学について興味を持ったことが分かった。</p> <p>3 環境問題に対する市民の啓発 学校開放講座や対外発表など限られてはいるが、それぞれの場面で光触媒の環境に対する機能を紹介できた。今後も積極的にこの事業をPRすることで環境問題への意識を高めていくことができると考える。</p>						
成果に係る評価		この事業を継続することで環境意識及び理工学に興味を持った人材育成に資するとともに、実験・研究等によりまとまった成果が期待できると考える。						
(単位：円)								
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳				
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
		500,000	473,963				473,963	

予算科目	4 款	衛生費	総合計画	第 4 章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	( )																													
	1 項	保健衛生費		第 2 節	生涯を通じて元気で健康な暮らしが実現できるようにする		( )																													
	7 目	診療所費		( 2 )	医療体制を充実する		( )																													
小 事 業	田代診療所費																																			
事 業 名	田代診療所運営事業																																			
目的及び事業内容	離島である田代浜地区の住民、観光客等の健康維持・疾病治療のための一次医療を行う。																																			
取 組 実 績	1 診療時間 火曜日 午後1時30時から午後5時まで 水曜日 午前8時30分から午後2時まで 2 診療科目 内科 3 診療体制 医師 1人、看護師 1人 年間を通し継続的かつ安定的な医療を確保することができた。																																			
成 果	医療を確保することにより、地区住民の疾病に対する不安解消、安心して生活できる環境及び健康増進が図られた。 震災による影響が少なく継続的かつ安定的な医療が確保されたことにより、診療報酬収入において対前年度を大きく上回る成果をあげることができた。 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>診療日数</td> <td>97日</td> <td>93日</td> <td>96日</td> </tr> <tr> <td>延診療者数</td> <td>459人</td> <td>958人</td> <td>1,050人</td> </tr> <tr> <td>1日当たりの診療者数</td> <td>4.73人</td> <td>10.30人</td> <td>10.94人</td> </tr> <tr> <td>診療報酬収入</td> <td>3,221,144円</td> <td>5,798,874円</td> <td>9,523,087円</td> </tr> <tr> <td>診療単価</td> <td>7,018円</td> <td>6,053円</td> <td>9,070円</td> </tr> <tr> <td>各種検診等収入</td> <td>608,472円</td> <td>427,163円</td> <td>389,418円</td> </tr> </tbody> </table>								主な指標項目	H21	H22	H23	診療日数	97日	93日	96日	延診療者数	459人	958人	1,050人	1日当たりの診療者数	4.73人	10.30人	10.94人	診療報酬収入	3,221,144円	5,798,874円	9,523,087円	診療単価	7,018円	6,053円	9,070円	各種検診等収入	608,472円	427,163円	389,418円
主な指標項目	H21	H22	H23																																	
診療日数	97日	93日	96日																																	
延診療者数	459人	958人	1,050人																																	
1日当たりの診療者数	4.73人	10.30人	10.94人																																	
診療報酬収入	3,221,144円	5,798,874円	9,523,087円																																	
診療単価	7,018円	6,053円	9,070円																																	
各種検診等収入	608,472円	427,163円	389,418円																																	
成果に係る評価	田代島の人口は年々減少しており、診療所を運営する環境は非常に厳しいものがあるが、患者のニーズを的確にとらえ、継続的かつ安定的な医療の提供に努めていく。																																			
予算の執行状況	(単位：円)																																			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																	
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																														
11,795,176	10,658,873	4,151,000		6,507,873																																

予算科目	4 款	衛生費	総合計画	第 4 章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	( )																													
	1 項	保健衛生費		第 2 節	生涯を通じて元気で健康な暮らしが実現できるようにする		( )																													
	7 目	診療所費		( 2 )	医療体制を充実する		( )																													
小 事 業	橋浦診療所費																																			
事 業 名	橋浦診療所運営事業																																			
目的及び事業内容	<p>・地域医療を支える施設として、「健康で安心した生活」を支える医療を目指す。  住民の各種疾病の治療、慢性疾患の指導等、治し支える医療の実施  予防接種及び健康診断等の予防医療の実施  高齢者、障害者に対応するため往診の実施</p>																																			
取 組 実 績	<p>1 診療時間 月曜日から金曜日まで 午前9時から午後5時まで  2 診療科目 内科 ・ 小児科  3 診療体制 医師 1人、看護師 5人、事務職 1人(兼務)  4 その他  (1) 予防接種の実施  麻しん・風しん混合予防接種、BCG接種、インフルエンザ、肺炎球菌といった各種予防接種を実施した。  (2) 健康診断の実施  保育所健診、就学時健診、学校健診、雇入時健診の各種健康診断を行った。  (3) 関係機関との連携  病院への患者紹介、病院からの紹介患者の受入れ、訪問看護ステーションへの訪問看護指示書の提供、在宅介護支援センター等の関係機関と連携により診療にあたった。  (4) 往診の実施  患者の求めに応じて、患者宅への往診や通院バス運行を実施した。</p>																																			
成 果	<p>高齢化が進み人口の減少に伴い、患者数も年々減少しているが、疾病の治療や指導等を積極的に行った。また、予防接種や健康診断の実施等、予防医療も積極的に取り入れた。  東日本大震災後の休診により、診療日数及び診療報酬収入が減少し、当診療所に受診している患者も約150名が被災（死亡・行方不明）し、今後は、大幅な減収も予想される。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>診療日数</td> <td>236日</td> <td>227日</td> <td>161日</td> </tr> <tr> <td>延診療者数</td> <td>9,756人</td> <td>8,928人</td> <td>5,088人</td> </tr> <tr> <td>1日当たりの診療者数</td> <td>41.34人</td> <td>39.33人</td> <td>31.60人</td> </tr> <tr> <td>診療報酬収入</td> <td>92,248,034円</td> <td>81,898,704円</td> <td>49,058,836円</td> </tr> <tr> <td>診療単価</td> <td>9,456円</td> <td>9,173円</td> <td>9,642円</td> </tr> <tr> <td>各種検診等収入</td> <td>9,135,930円</td> <td>6,628,387円</td> <td>4,611,074円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※平成23年度の診療期間は、東日本大震災のため8月1日～3月31日。</p>								主な指標項目	H21	H22	H23	診療日数	236日	227日	161日	延診療者数	9,756人	8,928人	5,088人	1日当たりの診療者数	41.34人	39.33人	31.60人	診療報酬収入	92,248,034円	81,898,704円	49,058,836円	診療単価	9,456円	9,173円	9,642円	各種検診等収入	9,135,930円	6,628,387円	4,611,074円
主な指標項目	H21	H22	H23																																	
診療日数	236日	227日	161日																																	
延診療者数	9,756人	8,928人	5,088人																																	
1日当たりの診療者数	41.34人	39.33人	31.60人																																	
診療報酬収入	92,248,034円	81,898,704円	49,058,836円																																	
診療単価	9,456円	9,173円	9,642円																																	
各種検診等収入	9,135,930円	6,628,387円	4,611,074円																																	
成果に係る評価	<p>人口の減少や高齢化が進む地域にあって、患者数も年々減少しているが、地区内唯一の医療機関として住民の健康を支え幼児から高齢者まで、幅広い患者に対応している。各疾病治療並びに慢性疾患に対応した治療や指導等を積極的に実施し、通院が難しい高齢者に対しては、往診により対応している。また、通院の利便性を考慮し仮設住宅を中心に、毎週2回の通院バスを運行した。  各種予防接種の実施により住民の疾病予防や、石巻赤十字病院等の関係医療機関との連携により、住民の信頼と安心に努めている。</p>																																			
予算の執行状況	(単位：円)																																			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																	
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																														
32,723,441	29,328,815			29,328,815																																



予算科目	4 款	衛生費	総合計画	第 4 章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	( )																													
	1 項	保健衛生費		第 2 節	生涯を通じて元気で健康な暮らしが実現できるようにする		( )																													
	7 目	診療所費		( 2 )	医療体制を充実する		( )																													
小 事 業	寄磯診療所費																																			
事 業 名	寄磯診療所運営事業																																			
目的及び事業内容	高血圧症等の慢性疾患に対する一次医療や健康管理に係る生活指導前網・寄磯地区（遠隔地）における医療の確保を図る。																																			
取 組 実 績	1 診療時間 月曜日 午前10時から午後4時まで 火・水曜日 午前9時から午後4時まで 木曜日 午前9時から正午まで 2 診療科目 内科 3 診療体制 医師 1人、看護師 1人、労務職 1人																																			
成 果	医療を確保することにより、地区住民の疾病に対する不安解消、安心して生活できる環境及び健康増進が図られた。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>診療日数</td> <td>183日</td> <td>147日</td> <td>79日</td> </tr> <tr> <td>延診療者数</td> <td>2,921人</td> <td>2,247人</td> <td>444人</td> </tr> <tr> <td>1日当たりの診療者数</td> <td>15.96人</td> <td>15.29人</td> <td>5.62人</td> </tr> <tr> <td>診療報酬収入</td> <td>15,908,328円</td> <td>11,753,683円</td> <td>1,998,886円</td> </tr> <tr> <td>診療単価</td> <td>5,446円</td> <td>5,231円</td> <td>4,502円</td> </tr> <tr> <td>各種検診等収入</td> <td>1,604,710円</td> <td>572,588円</td> <td>260,175円</td> </tr> </tbody> </table> ※平成23年度の診療期間は、東日本大震災のため11月1日～3月31日。								主な指標項目	H21	H22	H23	診療日数	183日	147日	79日	延診療者数	2,921人	2,247人	444人	1日当たりの診療者数	15.96人	15.29人	5.62人	診療報酬収入	15,908,328円	11,753,683円	1,998,886円	診療単価	5,446円	5,231円	4,502円	各種検診等収入	1,604,710円	572,588円	260,175円
主な指標項目	H21	H22	H23																																	
診療日数	183日	147日	79日																																	
延診療者数	2,921人	2,247人	444人																																	
1日当たりの診療者数	15.96人	15.29人	5.62人																																	
診療報酬収入	15,908,328円	11,753,683円	1,998,886円																																	
診療単価	5,446円	5,231円	4,502円																																	
各種検診等収入	1,604,710円	572,588円	260,175円																																	
成果に係る評価	安定的な医療確保や住民の健康づくりの観点から、本事業を継続することは必要不可欠である。																																			
予算の執行状況	(単位：円)																																			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																	
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																														
13,415,477	10,692,174	9,337,000		1,355,174																																

予算科目	4 款	衛生費	総合計画	第 4 章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	( )																													
	1 項	保健衛生費		第 2 節	生涯を通じて元気で健康な暮らしが実現できるようにする		( )																													
	7 目	診療所費		( 2 )	医療体制を充実する		( )																													
小 事 業	河北歯科診療所費																																			
事 業 名	河北歯科診療所運営事業																																			
目的及び事業内容	地区住民の歯科医療を確保し、歯科保健増進と健康に対する精神的不安の解消に資する。																																			
取 組 実 績	1 診療時間 月曜日から金曜日まで 午前8時30分から午後4時30分まで 2 診療体制 歯科医師 1人、歯科助手 2人																																			
成 果	歯科医療を確保することにより、地区住民の疾病に対する不安解消、安心して生活できる環境及び健康増進が図られた。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>診療日数</td> <td>231日</td> <td>233日</td> <td>242日</td> </tr> <tr> <td>延診療者数</td> <td>2,363人</td> <td>1,897人</td> <td>2,028人</td> </tr> <tr> <td>1日当たりの診療者数</td> <td>10.23人</td> <td>8.14人</td> <td>8.38人</td> </tr> <tr> <td>診療報酬収入</td> <td>18,255,819円</td> <td>13,898,247円</td> <td>18,787,077円</td> </tr> <tr> <td>診療単価</td> <td>7,726円</td> <td>7,326円</td> <td>9,264円</td> </tr> <tr> <td>各種検診等収入</td> <td>781,252円</td> <td>767,448円</td> <td>1,029,824円</td> </tr> </tbody> </table>								主な指標項目	H21	H22	H23	診療日数	231日	233日	242日	延診療者数	2,363人	1,897人	2,028人	1日当たりの診療者数	10.23人	8.14人	8.38人	診療報酬収入	18,255,819円	13,898,247円	18,787,077円	診療単価	7,726円	7,326円	9,264円	各種検診等収入	781,252円	767,448円	1,029,824円
主な指標項目	H21	H22	H23																																	
診療日数	231日	233日	242日																																	
延診療者数	2,363人	1,897人	2,028人																																	
1日当たりの診療者数	10.23人	8.14人	8.38人																																	
診療報酬収入	18,255,819円	13,898,247円	18,787,077円																																	
診療単価	7,726円	7,326円	9,264円																																	
各種検診等収入	781,252円	767,448円	1,029,824円																																	
成果に係る評価	平成21年2月に策定された診療所改革プランののっとり、診療所の廃止を含め、今後経営形態の見直しを検討する。																																			
予算の執行状況	(単位：円)																																			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																	
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																														
12,533,906	12,319,286			12,319,286																																

予算科目	4 款	衛生費	基本計画	第 4 章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	( )	
	1 項	保健衛生費		第 2 節	生涯を通じて元気で健康な暮らしが実現できるようにする		( )	
	7 目	診療所費		( 2 )	医療体制を充実する		( )	
小 事 業	夜間急患センター費、夜間急患センター費（東日本大震災関係分）							
事 業 名	夜間急患センター運営事業							
目的及び事業内容	<p>夜間における初期救急医療を行うことで、市民が安心して生活できる環境を整え、市民の健康の増進を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東日本大震災の津波により全壊し機能を失った一次救急医療施設の石巻市夜間急患センターの代替施設として、平成23年12月1日から仮設石巻市夜間急患センターを開所し、夜間診療を再開</li> <li>・石巻市医師会、桃生郡医師会及び東北大学病院等の協力により、内科、外科、小児科の診療を実施（なお、夜間診療に加え、月に2～3回、小児科の休日当番医（昼間）の診療も実施）</li> </ul>							
取 組 実 績	<p>1 診療時間 月～土 午後6時から翌朝7時まで 日曜・祝日 午後6時から翌朝6時まで ※ ただし、小児科については日によって診療時間が変更 月～金 午後7時～午後10時 土 午後6時～翌朝7時 日・祝日 午後6時～翌朝6時（休日当番医の場合 午前9時～午後5時まで）</p> <p>2 診療科目 内科、外科、小児科</p> <p>3 診療体制 常勤 医師 2人（所長1人・副所長1人）、看護師 18人、診療放射線技師 3人 事務長 1人、事務職 2人 非常勤 石巻市医師会、桃生郡医師会及び東北大学病院等からの派遣医師 薬剤師 2人 石巻市薬剤師会からの派遣</p>							
成 果	急病患者等の初期救急医療施設として夜間診療を行うことにより、市民の不安解消、安心して生活できる環境及び健康増進が図られた。							
	主な指標項目		H21	H22	H23			
	診療日数		365日	334日	122日			
	延 診 療 者 数	内 科	6,024人	5,462人	1,356人			
		外 科	2,680人	2,462人	328人			
		小 児 科	6,964人	5,985人	1,830人			
		計	15,668人	13,909人	3,514人			
	一 日 診 療 者 の 数	内 科	16.50人	16.35人	11.11人			
		外 科	7.34人	7.37人	2.69人			
		小 児 科	19.08人	17.92人	15.00人			
計		42.93人	41.64人	28.80人				
診療報酬収入		153,203,554円	139,587,141円	28,792,172円				
診療単価		9,778円	10,036円	8,194円				
<p>※H22：診療日数の減は、東日本大震災の影響による。</p> <p>※H23：仮設石巻市夜間急患センターにおける平成23年12月1日～平成24年3月31日のデータである。</p>								
成果に係る評価	<p>昨今、地方自治体における医療現場を取り巻く状況は厳しさを増すばかりであるが、特に全国的な「医師不足」の問題がもたらす影響は、当事業にも例外なく波及してきており、医師の確保が非常に困難になりつつある。一方、石巻市夜間急患センターの施設は、東日本大震災で甚大な被害を被り、事業を休止することとなった。しかし、このような状況において、被災した地域住民の夜間における一時救急医療のニーズに応え、事業の目的を果たすために、石巻市医師会、桃生郡医師会及び東北大学病院等の協力により、仮設石巻市夜間急患センターにおいて、内科、外科、小児科の3科の初期救急医療を実施している。また、初期救急医療機関として第二次救急医療機関との「機能分担」と「連携強化」を図ることは、良質かつ適切な医療を効率的に提供することに繋がるものであり、救急医療体制の維持という観点からも大きな役割を担っている。</p>							
予算の執行状況	（単位：円）							
	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源		
188,968,000	173,182,645			118,630,424	54,552,221			

予算科目	4 款	衛生費	総合計画	第 章	復興計画	( 2 )	市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す
	1 項	保健衛生費		第 節		( 1 )	迅速な生活・健康支援と福祉・医療の確保
	8 目	東日本大震災関係費		( )		( 4 )	地域医療の復旧・復興

小 事 業 医療対策費（東日本大震災関係分）

事 業 名 石巻ロイヤル病院（旧公立深谷病院）地震被害復旧事業

目的及び事業内容 石巻ロイヤル病院（旧公立深谷病院）は、地震により無償で貸し付けている市有財産（建物本体、機械室、給排水設備等）に大きな被害を受けたが、津波被害を受けていない病院として、いち早く被災者を受け入れるため、診療再開に必要な最低限の修繕を実施する必要があったことから、その復旧費用の一部経費について助成する。

取 組 実 績 修繕費用の助成により経営が安定することで、津波被害により沿岸部のほとんどの医療機関が診療不能に陥る中で、津波被害を受けない病院として、いち早く診療を再開し、石巻赤十字病院と連携し多くの救急患者を受け入れるなど、地域医療の確保、地域住民の安心に大きく貢献した。

成 果 石巻ロイヤル病院の経営が安定し、震災後の救急患者の治療はもとより、震災により大きく病床数が減少している石巻医療圏において、石巻赤十字病院との連携強化のもと入院患者の受け入れ先として、市民の医療確保、住民生活への安心感に繋がった。

成果に係る評価 石巻ロイヤル病院の経営安定、市民の診療体制及び入院病床の確保が図られた。

(単位：円)

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	32,000,000	25,930,000				25,930,000

予算科目	4 款	衛生費	総合計画	第 章	復興計画	( 2 )	市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す													
	1 項	保健衛生費		第 節		( 1 )	迅速な生活・健康支援と福祉・医療の確保													
	8 目	東日本大震災関係費		( )		( 2 )	被災者の健康支援													
小 事 業	感染症予防事業費(東日本大震災関係分)、予防接種費(東日本大震災関係分)、健康増進事業費(東日本大震災関係分)																			
事 業 名	2次避難者健診・予防接種費用助成事業																			
目的及び事業内容	本市が実施している各種健(検)診及び予防接種を東日本大震災により被災した者が、避難先の市町村の医療機関等で自己負担により受診・接種した場合、本市が医師会等と契約している金額を上限として助成する。これにより、被災した市民の経済的負担を軽減するするとともに、健康増進を図る。																			
取 組 実 績	本庁健康推進課及び各総合支所保健福祉課の窓口で申請を受付した。 また、郵送による申請も受付した。																			
成 果	被災した市民の経済的負担を軽減するするとともに、健康増進に寄与した。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>助成件数</th> <th>実申請件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>予防接種</td> <td>286件</td> <td rowspan="3">222件</td> </tr> <tr> <td>がん検診等</td> <td>22件</td> </tr> <tr> <td>結核検診</td> <td>12件</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>320件</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							項 目	助成件数	実申請件数	予防接種	286件	222件	がん検診等	22件	結核検診	12件	計	320件	
項 目	助成件数	実申請件数																		
予防接種	286件	222件																		
がん検診等	22件																			
結核検診	12件																			
計	320件																			
成果に係る評価	震災の直後ということもあり、本市の避難者の検診や予防接種を無料で実施する市町村が多く、助成件数は当初の見込みより少なかった。																			
予算の執行状況	(単位：円)																			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																	
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源														
2,542,285	1,920,856				1,920,856															

予算科目	4 款	衛生費	総合計画	第 章	復興計画	( 2 )	市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す
	1 項	保健衛生費		第 節		( 1 )	迅速な生活・健康支援と福祉・医療の確保
	8 目	東日本大震災関係費		( )		( 4 )	地域医療の復旧・復興

小 事 業 雄勝診療所費（東日本大震災関係分）

事 業 名 仮設雄勝診療所設置・運営事業

目的及び事業内容 全ての医療機関が全壊した雄勝地区に医師が常駐することにより、地区住民の医療が確保され安心して暮らせる環境が図られる。  
通常診療に加え在宅患者訪問診療、予防接種や健康診断等を実施する。

取 組 実 績  
#####

成 果 平成23年10月から診療を開始し、これまで雄勝地区外で診療を受けざるを得なかった患者の受診の利便性が向上した。特に慢性疾患、整形外科的疾患がある患者の多い地区であり、そのニーズに応える診療を行った。

主な指標項目

診療日数	120日
延診療者数	2,089人
1日当たりの診療者数	17.41人
診療報酬収入	15,513,980円
診療単価	7,427円
各種検診等収入	1,010,827円

成果に係る評価 雄勝地区唯一の医療機関として住民の医療不安の解消に寄与できた。高齢者の多い地区であり通院に苦慮している患者への訪問診療や予防接種等の実施により医療サービスの向上が図られた。

(単位：円)

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	21,675,300	17,631,909	13,692,000		3,939,909	

予算科目	4 款	衛生費	総合計画	第 5 章	心ゆたかな誇れるまち	復興計画	( )	
	2 項	清掃費		第 2 節	身近な自然や生活環境を守る		( )	
	1 目	清掃総務費		( 3 )	循環型社会を形成する		( )	

小 事 業	ごみ減量化対策費
-------	----------

事 業 名	ごみ減量化対策事業
-------	-----------

目的及び事業内容	市民のごみ減量及び資源化に対する意識高揚を図り、循環型社会形成を促進する。 ・再生資源集団回収報奨金交付事業 ・生ごみ減量容器（コンポスト・EM・電気式）購入補助事業
----------	---

取 組 実 績	1 再生資源集団回収報奨金交付事業																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>実施団体</th> <th>団体数</th> <th>実施回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>子供会育成会</td> <td>138団体</td> <td>105回</td> </tr> <tr> <td>老人クラブ</td> <td>38団体</td> <td>82回</td> </tr> <tr> <td>婦人会（部）</td> <td>11団体</td> <td>28回</td> </tr> <tr> <td>町内会</td> <td>14団体</td> <td>57回</td> </tr> <tr> <td>P T A</td> <td>6団体</td> <td>16回</td> </tr> <tr> <td>保育所</td> <td>9団体</td> <td>66回</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>24団体</td> <td>35回</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>240団体</td> <td>389回</td> </tr> </tbody> </table>	実施団体	団体数	実施回数	子供会育成会	138団体	105回	老人クラブ	38団体	82回	婦人会（部）	11団体	28回	町内会	14団体	57回	P T A	6団体	16回	保育所	9団体	66回	その他	24団体	35回	計	240団体
実施団体	団体数	実施回数																									
子供会育成会	138団体	105回																									
老人クラブ	38団体	82回																									
婦人会（部）	11団体	28回																									
町内会	14団体	57回																									
P T A	6団体	16回																									
保育所	9団体	66回																									
その他	24団体	35回																									
計	240団体	389回																									
	2 生ごみ減量容器購入補助事業 ホームページにより制度の周知徹底を図った。																										

成 果	資源の有効利用及びごみ減量を促進し、環境意識の高揚が図られた。															
	1 資源回収量及び報奨金交付額															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>紙類</th> <th>ビン類</th> <th>カン類</th> <th>合計</th> <th>報奨金交付額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>695,099kg</td> <td>21,138kg</td> <td>31,618kg</td> <td>747,855kg</td> <td>2,988,319円</td> </tr> </tbody> </table>	紙類	ビン類	カン類	合計	報奨金交付額	695,099kg	21,138kg	31,618kg	747,855kg	2,988,319円					
紙類	ビン類	カン類	合計	報奨金交付額												
695,099kg	21,138kg	31,618kg	747,855kg	2,988,319円												
	2 生ごみ減量容器補助件数及び補助金額															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>補助基数</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンポスト</td> <td>20基</td> <td>58,400円</td> </tr> <tr> <td>EM発酵容器</td> <td>6基</td> <td>11,990円</td> </tr> <tr> <td>電気式生ごみ処理機</td> <td>9基</td> <td>225,000円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>35基</td> <td>295,390円</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	補助基数	補助金額	コンポスト	20基	58,400円	EM発酵容器	6基	11,990円	電気式生ごみ処理機	9基	225,000円	計	35基	295,390円
区 分	補助基数	補助金額														
コンポスト	20基	58,400円														
EM発酵容器	6基	11,990円														
電気式生ごみ処理機	9基	225,000円														
計	35基	295,390円														

成果に係る評価	本事業を展開することにより、ものを大切にするという運動の実践と生ごみの自家処理を促進し、収集ごみの軽減及び環境意識の高揚が図られたが、震災の影響により集団回収の活動実績や生ごみ処理機の購入数が大幅に減少しており、今後さらに周知徹底を図りながら循環型社会形成を推進していく必要がある。
---------	---

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	6,456,000	3,684,665				3,684,665

(単位：円)

予算科目	4 款	衛生費	総合計画	第 5 章	心ゆたかな誇れるまち	復興計画	( )	
	2 項	清掃費		第 1 節	豊かな自然を次世代に継承する		( )	
	1 目	清掃総務費		( 1 )	自然環境を保全する		( )	
小 事 業	合併処理浄化槽設置補助事業費							
事 業 名	合併処理浄化槽設置補助事業							
目的及び事業内容	<p>生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止するため、浄化槽の設置を行う者に対し、設置に係る費用の一部を予算の範囲内において補助することにより、浄化槽の整備促進を図り、生活環境の改善及び公衆衛生の向上に資することを目的とする。</p> <p>(補助対象となる浄化槽：国庫補助指針等に適合する処理対象人員10人以下の浄化槽)</p>							
取 組 実 績	合併処理浄化槽設置補助の実施							
		5人槽	7人槽	10人槽	計			
	設置基数	29基	33基	4基	66基			
	補助金額	9,628,000円	13,662,000円	2,192,000円	25,482,000円			
	※ 人槽別補助金額： 5人槽 332,000円 7人槽 414,000円 10人槽 548,000円							
成 果	主な指標項目				H21	H22	H23	
	設置基数				71基	72基	66基	
成果に係る評価	<p>豊かな自然環境を次世代に継承するためには、公共下水道等の集合処理施設の整備だけでは目標を達成することは困難であり、集合処理区域から外れた地域における浄化槽整備も並行して推進していくことが不可欠となっている。</p>							
予算の執行状況	(単位：円)							
	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
27,892,000	25,482,000	13,544,000			11,938,000			



予算科目	4 款	衛生費	総合計画	第 5 章	心ゆたかな誇れるまち	復興計画	( )	
	2 項	清掃費		第 2 節	身近な自然や生活環境を守る		( )	
	2 目	ごみ処理費		( 3 )	循環型社会を形成する		( )	

小 事 業 清掃業務関係費

事 業 名 ごみ収集及び資源化事業

目的及び事業内容 一般廃棄物については、廃棄物の処理及び清掃に関する法律により市町村が処理することとされているため、家庭系一般廃棄物の収集運搬を行うものである。また、循環型社会形成推進基本法によりリサイクルの推進が必要であることから、収集運搬については分別収集とし、収集後の廃棄物については中間処理を施し、再生利用可能なものについて資源化を図るものである。

取 組 実 績

1 19分別収集の実施  
震災直後は収集体制が整うまでの間、収集品目により回数の減や中止期間を設けたが、8月から通常どおりに家庭系ごみは19分別で収集を行い、これを収集するための体制を整備した。  
収集対象及び収集回数

収集対象	燃やせるごみ	燃やせないごみ	資源物	粗大ごみ	有害ごみ
収集回数	2回/週	1回/月	2回/月	1回/月	1回/月
収集方式	ステーション収集	ステーション収集	ステーション収集	有料戸別収集	ステーション収集
災害措置	4/8まで 1回/週	8月中旬から再開	5月から順次再開	8月から再開	8月中旬から再開

2 中間処理の実施  
震災被害を受け中間処理施設が停止したが、その後の施設復旧に伴い処理を再開するとともに、処理体制を再構築し、リサイクルが可能なものについては資源化し循環型社会の形成に寄与した。  
中間処理施設及び処理対象

処理施設	河南資源回収センター	牡鹿クリーンセンター	雄勝一般廃棄物処理場
処理対象	びん類、その他	びん類、その他	搬入路不通により停止中

処理能力を超える分については、委託業者の処理施設を活用

成 果

一般家庭ごみとして出されたごみの全量を収集するとともに、リサイクル可能なものについては資源化し適正処理した。

1 収集実績

区分	収集量
燃やせるごみ	35,136t
燃やせないごみ	1,222t
資源物	6,012t
粗大ごみ	72t
有害ごみ	28t
計	42,470t

2 災害に伴う可燃ごみの措置  
(1) 燃やせるごみの仮置き  
焼却施設が被災したため、収集した可燃ごみは最終処分場等に一旦仮置きし、施設の復旧後に運搬して処理を実施した。  
(2) 燃やせるごみの広域処理  
仮置きごみの一部を市外の処理施設に処理を委託し、焼却処分した。  
山形置玉広域 4,822 t  
仙台市松森 4,642 t

3 資源化実績

区分	収集量	
紙類	新聞	1,066t
	雑誌	870t
	ダンボール	1,263t
	牛乳パック	1t
	雑紙	198t
	計	3,398t
金属類	スチール缶	269t
	アルミ缶	240t
	その他の金属	238t
	計	747t
ガラス類	生びん	169t
	無色透明びん	402t
	茶色びん	562t
	その他色びん	163t
	計	1,296t
ペットボトル	474t	
布類	100t	
合計	6,015t	

資源化量には施設直接搬入分を含む。

成果に係る評価 一般廃棄物処理については、廃棄物の処理及び清掃に関する法律により市町村に処理責任があることから、現状のとおり全量を収集し処理できる体制を維持する必要がある。また、震災の影響で家庭ごみ収集に支障が生じたが、今後は市民生活への影響を出来る限り軽減するよう更なる備えが必要である。

(単位：円)

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	635,432,000	633,890,416			2,937,500	630,952,916



予算科目	4 款	衛生費	総合計画	第 6 章	地域の個性が輝き融和するまち	復興計画	( )																												
	3 項	上水道費		第 3 節	快適な生活環境を実現できる地域にする		( )																												
	1 目	上水道対策費		( 2 )	生活を支える基盤をつくる		( )																												
小 事 業		上水道対策費																																	
事 業 名		上水道対策事業																																	
目的及び事業内容		<p>上水道等の整備及び管理を適正に行い、地域住民に安全でおいしい水を供給し、公衆衛生の向上と生活環境の改善に寄与するため、法令等に基づき負担金を支出する。</p> <p>企業団水道事業に係る経費の負担については、事業収入（料金収入）をもって充てることが原則であるが、その性質上、経営に伴う収入をもって当てるのが適当でない経費等（簡易水道施設の建設改良費等）について、一般会計からの負担が法により定められている。</p>																																	
取 組 実 績		<p>事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>1</td> <td>上水道広域化対策負担金</td> <td>85,058千円</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>上水道未整備地区施設整備事業費負担金</td> <td>70,707千円</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>旧公営簡易水道施設整備事業費負担金</td> <td>4,993千円</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>南境地区配水整備事業費負担金</td> <td>29,816千円</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>簡易水道施設整備事業費負担金（旧3町分・既往債元利償還金分）</td> <td>55,113千円</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>簡易水道施設整備事業費負担金（旧3町分・施設整備元利償還分）</td> <td>8,046千円</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>簡易水道事業継承負担金（旧3町・減価償却費）</td> <td>121,479千円</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>石巻地方広域水道企業団職員児童手当及び子ども手当負担金</td> <td>8,761千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: right;">合 計</td> <td>383,973千円</td> </tr> </table> <p>（旧公営・・・荻浜、小積浜、田代浜） （旧3町・・・雄勝、北上、牡鹿）</p>							1	上水道広域化対策負担金	85,058千円	2	上水道未整備地区施設整備事業費負担金	70,707千円	3	旧公営簡易水道施設整備事業費負担金	4,993千円	4	南境地区配水整備事業費負担金	29,816千円	5	簡易水道施設整備事業費負担金（旧3町分・既往債元利償還金分）	55,113千円	6	簡易水道施設整備事業費負担金（旧3町分・施設整備元利償還分）	8,046千円	7	簡易水道事業継承負担金（旧3町・減価償却費）	121,479千円	8	石巻地方広域水道企業団職員児童手当及び子ども手当負担金	8,761千円	合 計		383,973千円
1	上水道広域化対策負担金	85,058千円																																	
2	上水道未整備地区施設整備事業費負担金	70,707千円																																	
3	旧公営簡易水道施設整備事業費負担金	4,993千円																																	
4	南境地区配水整備事業費負担金	29,816千円																																	
5	簡易水道施設整備事業費負担金（旧3町分・既往債元利償還金分）	55,113千円																																	
6	簡易水道施設整備事業費負担金（旧3町分・施設整備元利償還分）	8,046千円																																	
7	簡易水道事業継承負担金（旧3町・減価償却費）	121,479千円																																	
8	石巻地方広域水道企業団職員児童手当及び子ども手当負担金	8,761千円																																	
合 計		383,973千円																																	
成 果		<p>石巻地方広域水道企業団の財政基盤を強化することにより、経営の健全化が図られ、地域住民に安全で良質な水道水を供給することができた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>負 担 金 額</td> <td>406,639千円</td> <td>562,897千円</td> <td>383,973千円</td> </tr> </tbody> </table>							区 分	H21	H22	H23	負 担 金 額	406,639千円	562,897千円	383,973千円																			
区 分	H21	H22	H23																																
負 担 金 額	406,639千円	562,897千円	383,973千円																																
成果に係る評価		<p>地方公営企業法、地方公営企業線出基準及び各種協定書に基づき各種負担金を支出しているものであり、必要不可欠な事業として継続していく。</p>																																	
（単位：円）																																			
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																													
	383,977,000	383,973,382				383,973,382																													

予算科目	4 款	衛生費	総合計画	第 章	復興計画	( 1 )	みんなで築く災害に強いまちづくり
	3 項	上水道費		第 節		( 3 )	減災まちづくりの推進
	2 目	東日本大震災関係費		( )		( 1 )	都市基盤の復旧・復興
小 事 業	上水道対策費（東日本大震災関係分）						
事 業 名	上水道対策事業（東日本大震災関係分）						
目的及び事業内容	石巻地方広域水道企業団では東日本大震災により浄水場、水道管など多くの施設に被害を受けたため、その復旧に多額の費用を要する。そのため、企業団の構成2市により、その復旧費の一部を負担する。						
取 組 実 績	災害復旧事業負担金 1 上水道事業 37,800千円 2 雄勝簡易水道事業 400千円 3 鮎川簡易水道事業 1,500千円 合 計 39,700千円						
成 果	東日本大震災による被災施設の復旧事業に係る経費を負担することにより、被災施設の復旧が図られ、地域住民に安全で良質な水道水を供給することができた。						
成果に係る評価	地方公営企業法、地方公営企業線出基準及び協定書に基づき負担金を支出しているものであり、今後も震災復興の事業経費として必要不可欠な事業として継続していく。						
予算の執行状況	(単位：円)						
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
39,700,000	39,700,000				39,700,000		